

議 事 録

会議名	第3回笛吹の里運営推進会議	開催場所	書面開催
開催日	令和5年8月	開催時間	

§出席者（敬称略）

役職	氏名	役職	氏名
利用者代表	小山 敏夫	地域包括支援センター職員	平野 令子
家族代表	薄波 謙一	施設委員（施設長）	関原 礼敏
藪野町内会長	田村 文人	施設委員（部長）	吉田 芳治
池町内会長	古川 勝夫	事務局（小規模管理者）	中村 啓一郎
民生委員	渡部 孝	事務局（特養相談員）	柳本 幹子
民生委員	桑原 幸子	事務局（小規模計画作成）	竹田 慎一

委員5名の方より回答あり

1. 議事

◆令和5年度第2回議事録の承認 ⇒承認される

◆利用状況・事故ヒヤリ発生状況・苦情について（別紙参照）

◆行事・活動等の報告

ふえふき通信参照

◆事業所の運営に係る報告事項

①夏祭りについて

【日時】9月6日（水）18時30分～1時間程度

【内容】出店（飲食・ゲームコーナー）、じゃんけん大会、盆踊り、花火

【参加者】特養入居者・ケア利用者・職員

（ご家族は呼ばないことになりました）

②第1回自衛消防訓練の報告

【日時】7月12日（水）14:00～15:00

【内容】夜間想定+限界時間設定（7分）の総合訓練を2回実施。消火器訓練。

渡部委員にもご参加いただきました。

【実施状況と所感】

○火元場所での職員間の声掛けはしっかりとできていた。

○全体的にいつも以上に声が出ており、良い緊張感で真剣に取り組んでいた

△避難誘導に参加できない入居者が多く、実際の限界時間でどこまで

できるか不明である

●夜間責任者と宿直員との連携が不十分で館内放送が適切に行えなかった

●サイレンの音が大きく通信指令室との会話が確実に行えなかった。

◎防災委員会にて今後に向けた対応を検討

- ・夜間責任者と宿直員への定期的な指導
- ・ケアホームの人形や職員・宿直員が利用者役となり、避難誘導を行う
- ・通信指令室に大きな声で話してもらうよう通報書持参時にお願いする
- ・消防本部に本物の火の消火体験を依頼（消防本部に装置あり）
- ・消火器中心の初期消火訓練を継続してきたが消火栓の使用を優先していく。消火栓の訓練を毎年1回実施する

【渡部委員】消防訓練を見学させていただいて

訓練前に職員の方が色々と質問されており、問題意識を持って取り組んでいることが伺われた。

サイレンを鳴らして行い、消防本部への通報など、実際に則した訓練になっていると感じた。

訓練前にトランシーバーの充電をしておき、常時での管理はどうしているのか気になった

⇒【事務局】施設で使用しているトランシーバー3台は常時充電しており、事務室・ケアホーム・2階多目的に設置してある。
事務室とケアホーム間では日頃から慣れるため家族の送迎時に使用している。

③笛吹の里公式LINEの開設について

◆一般向け

ブログ・広報誌等の情報発信、介護相談、ボランティア・施設見学問い合わせ

◆家族向け

施設からの情報発信（面会情報・災害時の連絡等）

施設行事等の動画配信、写真データの提供

④内部研修報告

6月：感染症研修

7月：認知症研修（運営推進委員：2名・家族：1名参加）

◆委員の皆様からの情報やご意見

地域で心配な方や困り事はありませんか？

特になし

2. 今後の予定

8月：内部研修【リスクマネジメント研修】

9月：内部研修【感染症研修】

10月：内部研修【看取り介護研修】家族・運営推進委員参加

※次回日程について 令和5年12月20日（水）13：30～